

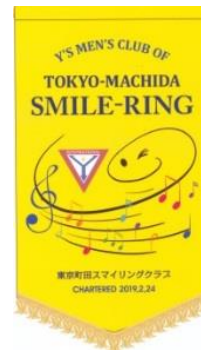


THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS  
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT  
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

## 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

2020年  
12月号(第20号)

**THE SMILE-RING** Chartered in Feb. 2019



### 今月の聖句

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

ルカによる福音書 2章 11～12 節

### 《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク) 「命の川を信じよう」

アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう!”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう!」

東新部部長 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め YMCA を支えよう」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長!」

[クラブ役員] 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫

担当主事 諏訪治邦

### 【 12月の巻頭言 】

為我井輝忠

カレンダーをめくると、今年もあとわずかになってしまった。気が付かないうちに何と時間が早く過ぎていくことか。1月以来のコロナ禍の影響で海外旅行も出来ず、国内での移動もままならない状況の中で、Stay home を合言葉に今年は移動することが禁足されたような1年であった。

我が町田スマイリングクラブは2月以来毎月の例会が開催できず、7月から何とか Zoom を利用したウェブ例会になった。うまく行くかどうか心配だった。いざ始めると、危惧していたほど難しくはなく、何とか使いこなすことが出来たと思う。まだしばらくはコロナウイルスと共存しなければならないが、Web による定例会もまだ必要だろう。早く終息してほしいと願うばかりである。

この1年は過去数年分の出来事や事件がぎゅっと凝縮したような感じで、もはやついていけないような気がした。しかし、それでも時間は止まらない。クリスマスもやって来る。新たな気持ちで降誕節を祝い、来年に備えたい。皆様と共に “Merry Christmas and Happy New Year.” と心から祝えることを希望したい。

最後に蛇足ながら、今年はアメリカ大統領選でトランプ旋風が吹き荒れた年であったが、ある新聞の短歌欄に「トランプの話す英語は分からぬが美しくないことは感じる」と詠まれた一句があった。私も同じことを感じたが、当クラブとはあまり関連はなさそうだ(笑)。しかし、バイデン次大統領と共に来年はアメリカが新たな出発をするように、我がクラブも確かな未

### 2020年12月例会プログラム

日時：2020年12月16日(水) 19:00～20:30

会場：Zoomにて開催します。

(下記 UNL をクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNybWZicFpzY1JUUT09>

司会 尾張日出夫

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠

2. ゲストとビジター紹介 会長 為我井輝忠

3. 卓話「熊本 球磨村大水害復旧支援の体験」  
東京 YMCA 西東京コミュニティセンター  
郷 進太郎 様

4. 諸報告など 太田 勝人

5. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

※ ZOOM につき一部省略させていただきます。

※ 事前にクラブ事務局へお申込み下さい。

(申込み先については次頁をご覧ください。)

来に向けてさらに歩みだすことが出来ることを願いたい。

### 【 今月の強調テーマ 】

12月の強調テーマ：EMC/MC

EMCとは Extension Membership & Conservation の略で「クラブ拡張・会員増強・維持啓発」を意味します。ワイズメンの運動に当たって EMC は “もっとも重要なテーマ” の一つであります。

ワイズメンズクラブのスタートから2022年には100周年を迎え、世界の情勢、技術革新、価値観の変遷等々大きなうねりの中で風雪に耐えて今日に至っているのもこの「EMC」を第一優先に据えて先達のリーダーたちが実践してくれてくれたお陰で今日の我々があるのです。

東日本区全体を上げて目下「Change! 2022」運動を展開していることは会員の皆さんにも伝わっていることと思います。

わが東京町田スマイリングクラブも会長の率先垂範の下に現在の会員10名（ほかに休会中2名あります）を2022年12月末までに15名に増強していきたい、との強い意志を表明しております。その為にもコロナ禍ではありますが、会長だけでなく会員全員で友人・知人や日常生活の中で人のために何か役立ちたいとの思いで活動されている方々を積極的にご紹介下さるようお願いいたします。

（太田 記）

## 【 11月のZoom例会のご報告 】

11月の例会は長澤様からZoomをお借りして11月18日（水）に開催しました。（19時～20時30分）参加者は、下記の13名でした。（内訳・敬称略）

\*ゲスト：池田麻梨子様（世田谷クラブ）

\*ビジター：コスモス（権藤、松香、谷治）、東京（長澤、佐藤）、多摩みなみ（石田、田中）の7名、

\*当クラブ：為我井、太田、尾張、諏訪、城田の5名  
（卓話概要）テーマ「フロストバレーの6年間」

池田麻梨子様は東京YMCAの職員として派遣されたアメリカ・ニューヨーク州郊外（マンハッタンから車で3時間）の自然保護地区・山手線1週分ほどの広大なフォレストバレーでの2013年から6年間に及ぶ体験談をお話し頂きました。豊かな自然を舞台としたサマーキャンプ、スクールプログラム、週末プログラム等が主体ですが夏に実施するサマーキャンプは約4,000人、スクールプログラムには約20,000人が集まります。中高生のグループ活動や日帰りキャンプの指導などの、貴重なご指導の経験をビデオ記録を交えてお話し頂きました。例会のビジターにはフォレストバレーをご存知の方が多く、熱心な質疑応答で盛り上がりました。

## 【 事務局からのご連絡等 】

### 1. 報告事項

- (1) 12月26日「市民クリスマス祝会」を町田コスモスクラブと共同で開催予定でしたがコロナ禍の為、残念ながら中止することになりました。
- (2) 12月16日（水）「熊本球磨村大水害復旧支援の体験」と題して東京YMCA西東京コミュニティセンターの郷進太郎様にお話頂くことになりました。
- (3) 1月20日（水）初例会（WEB）には東新部部長加藤様及び役員による公式訪問があります。

### (4) 第2回東新部評議会の開催

11月21日（土）13:00～16:00、Zoomによるオンライン評議会が開催されました。

参加者は23名、審議事項は以下の通りです。

- ① 2020-2021年度第1回評議会議事録の確認
- ② 次々期部長、次期監事指名委員会指名承認
- ③ 第24回東新部大会報告 実行委員長深尾香子様
- ④ 次期役員承認の件、次期部長 松香光夫様
- ⑤ YMCA支援献金報告：部長 加藤義孝様  
\*他、報告事項等でした。



(5) 12月の例会もコロナ禍を避けてZOOM例会です。皆様のご参加をお待ちしています。

- ① 日時：12月16日（水）19:00～21:00

- ② 参加申込：クラブ事務局・尾張まで

\*メール：howari3119@kib.biglobe.ne.jp

\*TEL：090-2248-8609

\*ご都合による当日の飛び込み参加もOKです。

- ③参加方法：時間になりましたらURL（1頁の例会プログラムに表示）をクリックして下さい。

(6) 新年初例会もZOOM例会になりそうです。

- ① 日時：1月20日（水）19:00～21:00

- ② 卓話は「市川歴史散歩を通して思うこと」と題して東京クラブの長澤弘様にお話し頂きます。

※なお、東新部加藤義孝部長及び役員の公式訪問があります。

（尾張 記）

## 《 使用済切手をお寄せください 》

皆様のご自宅では古切手をどのように処理していますか。捨てていませんか。捨てずに例会の際にご持参ください。こうして集めた切手を切手商に送り、換金し、BF（Brotherhood Fund）事業に活用することが出来ます。

手紙やはがきに張られている切手は周囲を1センチくらい残して切り取り、可能ならば外国切手、日本切手（通常切手より記念切手の方が望ましい）を区分けしてまとめてください。未使用の切手も可能です。使用済みの切手は水に付けてはがす必要はありません。破れたものや汚れたものは除いてください。皆様のご協力をお願いします。また、未使用のはがきや年賀はがきも可能ですので、ご協力ください。11月末日にこれまで集めて来た切手を切手商に持参したところ20,200円にもなりました。

（為我井 記）

## ワイズとファンドについて (前編)

東京まちだクラブ 小山正直

以前、東京まちだクラブの小山正直ワイズが「ワイズとファンド(基金)」についての文章をお書きになっていました。現状と見比べ要約しながら、2月15日の各種献金締め切り日に向けて、東京町田スマイリングクラブのみなさまへファンド理解の為、以下にご紹介させていただきます。

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

小原史奈子(東京たんぼぼクラブ)

(注) なお、出典は「5つの説話集より」の第2話を前後2回に分けて、掲載致しますが、現在の視点から見直して一部修正させて頂きました。

年度によって多少異なりますが、1年間にいろいろなファンドの月間(強調月間)があります。みなさまお持ちのロースターの前半に、ハンドブックという色付きページ末尾に「ワイズ用語」というページがあります。ワイズのいろいろな言葉が出てきたときに引いて、いつでも見られるようにしておくと、まごつかずに対応できます。

本年のロースターには12頁にワイズの月間カレンダーがのっており、何月に何をメインに据えて活動。という月々の強調テーマが分かります。ワイズ用語がわからないと、何を話しているのかさっぱり分からなくて、会合に出ても面白くない。ということがないように、下敷きとなるお話しをしようと思います。

ファンド：つまり資金作りですが、ただいくら集めよう、いくら集まった、よかったね。だけでなく、集めたお金が東日本区、国際協会に集められ、どのように生かされているか。というところまで理解していると、資金集めに献金するのもファイトが沸いてくるという事が言えます。その辺のところもよく覚えて頂きたいと思います。

BFとはBrotherhood Fund、メンバーの国際交流の資金をつくる国際交流事業です。集め方は使用済み郵便切手(記念切手)を集める方法と、現金による方法があります。BF代表とは、今後活躍が期待される成長株のワイズを、海外のワイズ事情研修に派遣する制度です。国際協会から旅費の補助を受けて、他地域のクラブを訪問し、国際大会、他の地域・区の大会等に出席して国際理解を深めてもらい、ワイズ運動の発展に貢献するリーダーへの投資。といわれています。前年度のBF拠出実績に応じて、国際協会のBF支出委員会が次年度のBF代表枠(どの地域からどの地域に何人)を決めて公募します。応募資格は、本人と所属クラブがBF拠出責任(一人当たり5スイスフラン以上のBF献金)を果たしている事、などの条件があります。(ハンドブック67ページ参照)拠出実績を作

って積極的に応募されることを勧めます。(つづく)

※以下はメルケル首相が2020年3月18日の新型コロナウイルス感染症対策に関する演説の続きです。

## メルケル首相の演説・その(3)

ドイツ連邦共和国大使館 総領事館 提供

感染再拡大という局面に直面している今、是非この演説を熟読して頂きたいと思います。



私たちは、ウイルス感染拡大を無抵抗に受け入れるには対抗する手段があります。それは、互いへの配慮から人との間に間隔を置くことです。ウイルス学者の助言ははっきりしています。握手はしない、手洗いを頻繁かつ徹底して行う、他の人との間

隔を最低1.5メートルあける、そして今は、特にリスクの高い高齢者との接触を極力避ける。

これらを実際に実行するのが私たちにとっていかに大変なことか、私も承知しています。困難な時期であるからこそ、大切な人の側にいたいと願うものです。私たちにとって、相手を慈しむ行為は、身体的な距離の近さや触れ合いを伴うものです。しかし残念ながら現状では、その逆こそが正しい選択なのです。今は、距離を置くことが唯一、思いやりなのだということを、本当に全員が理解しなければなりません。よかれと思って誰かを訪問したり、不要不急の旅行に出かけたりすることが、感染につながりかねない今、こうした行動は控えるべきです。専門家の方々が、今は祖父母と孫が会わないほうがよい、と助言しているのは、十分な根拠があるからこそなのです。

不要な接触を避けることは、感染者数の増加に日々直面している全ての医療機関関係者のサポートになります。そうすることで私たちは命を救っているのです。接触制限は多くの人にとって厳しいものであり、だからこそ、誰も孤立させないこと、励ましと希望を必要とする人のケアを行っていくことも重要になります。私たちは、家族や社会として、これまでとは違った形で互いを支え合う道を見つけていくことになるでしょう。

ウイルスが社会に与える影響に対し、さまざまな形で立ち向かうとする創意工夫が見られます。おじいさん、おばあさんが寂しくならないよう、ポッドキャストを録音してあげるお孫さんなども一例でしょう。

私たちは皆、親愛や友情を表す手段を見出していかなければなりません。それはスカイプ、電話、メールであったり、あるいは郵便の配達が続いていますから手紙であったりするかもしれません。買物に行けない高齢の人を近所の人が支援する活動など、すばらしい取り組みの例を耳にしますし、きっと他にもいろいろ



できることはあるでしょう。

私たちは、互いに置いてきばりにしないという共同体の姿勢を見せていきます。

皆さんに呼びかけます。どうか、今後しばらくの間適用されるルールを守ってください。政府としては、再び戻せるところはないかを継続的に点検していきます。しかし、さらに必要な措置がないかについても検討を続けます。

事態は流動的であり、私たちは、いつでも発想を転換し、他の手段で対応ができるよう、常に学ぶ姿勢を維持していきます。新たな手段をとる場合には、その都度説明を行っていきます。

ですから皆さん、どうか噂話は信じないでください。様々な言語にも翻訳されている公式な発表だけを信じてください。

我が国は民主主義国家です。私たちの活力の源は強制ではなく、知識の共有と参加です。現在直面しているのは、まさに歴史的課題であり、結束してはじめて

乗り越えていけるのです。

私たちはこの危機を必ず克服できると、私は全く疑っていません。ただ、犠牲者数はどれほど増えるでしょうか？私たちは大切な人を何人失うことになるでしょうか？このことは相当程度、私たち自身の行動にかかっています。今こそ、固い決意のもと、皆でともに行動する時です。制約を受け入れ、互いに助けあうのです。現状は深刻ですが、この先はいろいろな展開があり得ます。ということは、一人ひとりがどれだけ自制してルールを守り、実行するかが、全てではないにせよ、今後の展開を決める一つの要素なのです。

かつて経験したことのない事態ではありますが、私たちは、思いやりと理性を持って行動し、命を救っていくことを示して行かなければなりません。例外なく全ての人、私たち一人ひとりが試されているのです。

皆さんご自身と大切な人の健康に気をつけてください。ご静聴ありがとうございました。

(完)

## YMCA NEWS

イエス・キリストの誕生の話は聖書の中でも、様々な形で語られています。この聖句は有名な個所の一つです。

この世の救い主 イエス・キリスト が、馬小屋の飼い葉桶の中でやすやすと寝ている。

そんな光景を思い浮かべる方も多いでしょう。冷静に考えると冬の砂漠・馬小屋・決して衛生的とは言えないその場所で生まれたと言われていきます。

高級な旅館の一室でもなく・あたたかな季節でもなく、困難な条件の環境で生まれたことは私たちに何を示してくれるのでしょうか？

決して良好で素敵な環境だとは言えない場所です。私たちに示されたこの状況は、どんな人にも、どんな場所であったとしても神様の救いが必ずあることを象徴しています。

クリスマスで町はお祝いのムードが、コロナ禍で若干異なる状況になっています。

どんな個人的な状況であろうとも、皆さんに平等にクリスマスがやってきます。貧しさの中に救いがあったことを覚えます。

東京 YMCA においても、この冬スキーキャンプ等のプログラムも実施ができるのか不安になってきます。キャンプを待ちに待っている子どもたちもさぞかし不安な事だろうと思います。

会議もほとんどリモートで行われる時代になりました。

人と人の距離が疎遠になり始めている間隔を覚えます。

このような冬は、誰も体験したことのない冬です。困難な時期にクリスマスが迎えることのできる喜びは、クリスチャンであるか無いかに関わらずどなたでも味わえるものです。

皆さんに幸せな、クリスマスと新年が来ますように願ってやみません。

(諏訪治邦 記)

### これからの予定

- ① 12月16日(水) 例会 Zoom 例会 19:00～
  - ② 2021年1月20日(水) 例会 (Zoom 例会?) 19:00～
- ※1月例会には東新部加藤義孝部長及び役員の公式訪問があります。

○例会日 第3水曜日 19:00～21:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

○第2例会 第1土曜日 13:30～15:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

### 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人氣付

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093 口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ